

お楽しみ会

3D病棟 岡中映美里



1月11日にお楽しみ会を実施しました。お正月の雰囲気を感じてもらえるよう、松竹梅や十二支の動物達を台紙に入れ込んだ「お正月すごろく」を制作し、「鯛」「だるま」「辰」「羽根」の4つのチームに分かれてすごろくを行いました。マスには「お年玉をもらって4マス進む」「おみくじを引く」「獅子舞が登場する」など、季節を感じられるようなマスを多く用意しました。

呼吸器使用の利用者の方々にもベッドサイドでサイコロを振ってもらえるようにしました。大きい目が出て嬉しそうにする利用者や、獅子舞の登場で驚いている利用者もいました。待っている時もサイコロを振る人へ向けて手を叩いて応援している利用者もいました。どの順位でゴールしてもみんな楽しそうな表情をしており、最後は全員のがんばりを称え、拍手で終わることができました。



半日バスハイク 大國魂神社(初詣)

1B病棟 豊嶋保江



初詣で大國魂神社に行ってきました。天気も良く過ごしやすい気候のため参拝日和でした。参拝方法を説明すると、上手に2礼2拍手1礼を行い、皆の健康祈願を行いました。

参拝後は境内を散策し、参道を歩きながら路上パフォーマンスの猿回しを観覧しました。猿のアクロバティックな芸を見て驚く様子や楽しそうな表情を見せていました。

散策後、駐車場に向かう途中でスーパーに寄り、各々好きなドリンクを数本購入し買い物も楽しみました。利用者は終始リラックスして参拝や散策を楽しむことができました。



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*

<http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

新年のごあいさつ



院長 澁谷和彦

皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

元旦に最大震度7の大地震が能登半島に発生しました。新型コロナウイルスが5類感染症となり初めての年明けでしたから、各地で賑やかな正月を家族や親戚と迎えていた矢先の惨事となりました。亡くなられた方に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。改めて我が国が地震大国であり、いつ何処に大きな地震が来るのか予測困難であることを再認識いたしました。被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。



昨年、ロシアのウクライナ侵攻に加えてガザ地区におけるイスラエルとパレスチナの紛争が激化し、更に厳しい世界情勢となりました。各国のリーダー達が、二度の大戦を経た現代において再び人間同士が争うことの愚かさを認め合い、悲惨な紛争の終結に全力で取り組むことを願っております。さて、今年の1月9日に当センター内“くぬぎ分教室”の第3学期始業式がありました。その場で初めて披露されたものがあります。それは、メジャーリーガー大谷翔平選手から贈られたグローブでした。分教室に所属する生徒5名の元にも3つグローブ（右利き用と左利き用と小さい子用）が届けられたのです。始業式に出席した子供達のみならず、学校の先生と当センター職員である大人達も皆が笑顔になりました。悲しいニュースが続いた正月に、明るい話題を提供してくれた大谷選手に感謝したいです。

今年の干支である辰（龍）は、この世で最強とされる生き物であり、古来日本では自然に宿る神とも言われています。最強の龍神が災害と紛争を鎮め、2024年を良い年にしてくれることを祈っております。新センターの開設から丸4年を迎えようとしていますが、全職員で力を合わせて様々な課題に取り組みながら、より良い施設に行きたいと考えております。どうか本年もよろしく願い申し上げます。

辰(龍)の切り絵
《2階ラウンジ》



新春お楽しみ会

1 A病棟 渡邊恵子

1月17日(水)新春のお楽しみ会が開催されました。皆さんが一堂に会する中、今年の干支の辰の絵をバックに獅子舞が登場。大喜びされる方、怖がられる方など、悲喜こもごもの表情の中、全員獅子に頭を噛んでもらい今年の厄落としを完了しました。

その後は、全員で今年の運勢を占うべく、おみじくじゲームに挑戦。お手玉が乗った大きな空気袋の両サイドや上部などを手で叩いてお手玉を飛ばして、落ちた場所にある吉凶が今年の運勢です。「大吉、中吉、末吉、吉」が飛び出す中、「スーパーエクセレントプレミアム大吉」なるスーパーな大吉も飛び出しました。思いのほか遠くに飛ぶお手玉に歓

声が沸き上がっていました。

今年は大なり小なりの願いが叶うというお告げに、皆さん満足の笑顔を見せていらっしゃいました。

今年も大きな福が訪れる予感を残しつつ、皆さんの笑顔と笑い声で、お楽しみ会は終了しました。



1月お楽しみ会

3 A病棟 青柳絵理子

1月の誕生会と二十歳のお祝いを行いました。「1月の誕生会」では、誕生者のIさんが40歳という節目のため、自前の青いドレスで登場。にぎやかなことが苦手なIさんは、スタッフからメッセージとハンドベルの誕生日の歌でのお祝いに少しとまどっていたものの、記念撮影にはカメラに視線を合わせ、晴れやかな表情をみせてくれました。

「二十歳のお祝い」では、振袖を着たTさんに、院長、副院長、事務長、主治医(元・現)など多数の招待者がかけつけてくれ、お祝いのメッセージ、思い出のエピソードなどを述べていただきました。MSWからは母からのメッセージの伝言、その後は今までの歩み、喜びの歌のハンドベル演奏などでにぎやかにお祝いをすることができました。終了時には参加してくれた方々、3AスタッフとそれぞれTさんを囲んでの記念撮影で、みなさんにっこり！！

お祝いの後は、本日の主役2人がチームリーダーとなり「羽根つきゲーム」の対戦で大いに盛り上がりました。新春らしく、華やかに賑やかなお楽しみ会となりました。



お楽しみ会

2 B病棟 石坂幸子



2 B病棟では、1月10日にお楽しみ会で“長崎くんち”と“福笑い”を行いました。“長崎くんち”は、龍をモチーフにした龍踊で、長崎の伝統行事で元々は収穫祭に行われていたそうです。今年は辰年ということで、去年のセンター祭で行われたものを病棟でも行いました。和楽器の演奏の中、“長崎くんち”で利用者の間を龍が練り歩き近づくと利用者は笑顔や驚いた表情になったり、龍の動きを目で追っている様子が見られたり

りと、賑やかにお楽しみ会がはじまりました。福笑いは、髪型や目、鼻、口等のパーツを何種類も手作りし、番号をつけサイコロの出た目と同じ番号のパーツを2チームに分かれて貼ることにしました。サイコロで何を貼るか決まると、職員と一緒に声を掛け合いながらマジックハンドで目や口等を貼りました。目や眉毛は、左右それぞれにサイコロを振ったので、同じ形にはなりません。左右別々の目や口が斜めになってしまった様子を見ながら、職員と一緒に笑いながら福笑いを行いました。出来上がった顔を見せ合うと、声を出して笑ったりじっと出来上がった顔を見ていたり、盛り上がっている状況を感じて笑顔になるなど、福笑いをみんなで楽しみ、2 B病棟に笑いの福が訪れました。“長崎くんち”と“福笑い”で賑やかな楽しいひと時を過ごすことができました。



お楽しみ会

2 A病棟 小坂田史弥



2 A病棟では新年初の病棟行事が1月26日(金)に行われました。テーマは「冬のお楽しみ会。ねらえ千両箱!!」です。デイルームを大きく使用して、パラバルーンの中心に置かれた千両箱をめがけて小判を投げ入れ点を競い合うゲーム大会です。水戸黄門チームと暴れん坊将軍チームに分かれ、紐で引っ張って小判を投げる道具を使用したり、道具を使わず直接狙ったりして盛り上がりました。千両箱に入れるのがなかなか難しかったですが、入ると会場が一気に盛り上がり、どの利用者の方もとても楽しまれていました。159対141で暴れん坊将軍チームの勝利となりました。千両箱に小判を入れる感覚が、初詣で賽銭を投げ入れる様子と重なり、新年にぴったりなイベントになりました。

